

入場無料



♪ 語りと音楽のハーモニーでお届けする

かのん

花音朗読コンサート 2022

岡本かの子の世界

～芸術家岡本太郎の母・漫画家岡本一平の妻～

神奈川ゆかりの女流作家であり、その生涯にわたり強い個性を放った岡本かの子。
ひたむきに生きた岡本かの子の魅力を音楽と朗読でご紹介します。



2022年

10/10

(月曜日・祝日)

開場：午後1時45分

開演：午後2時

(午後3時30分終了予定)

会場：秦野市立図書館視聴覚室

定員：50人(申込み先着順)

★申込受付は9月1日(木)より。お電話もしくは、直接カウンターにてお申込みください。

申込み・問い合わせ：秦野市立図書館

TEL:0463-81-7012 住所：秦野市平沢 94-1

URL：<https://library-hadano.jp/>

出演：語りと音楽・花音
ぬかだ いずみ おおはな かおる
<朗読>額田 泉・大花 薫
さねちか ふさえ
<電子ピアノ>実近 房枝

♪花音ブログ
<http://ameblo.jp/kanon-2006/>

※新型コロナウイルスの拡大状況等により、開催内容を変更することがあります。感染予防のため、ご来館の際にはマスクの着用などにご協力をお願いします。詳しくはお問い合わせください。



岡本かの子(1889~1939)

小説家、歌人。仏教研究家。本名カノ、旧姓大貫。東京青山の生まれ。大貫家は、神奈川県二子多摩川のほとりに代々続く旧家であった。明治 39(1906)年与謝野晶子の新詩社に参加、『明星』に新体詩や和歌を発表。明治 43(1910)年画家の岡本一平と結婚し、芸術家岡本太郎を生んだ。夫婦間の危機に遭いつつ、平塚らいてうの青鞜社に参加、第一歌集『かろきねたみ』(1912)を発表した。昭和 4(1929)年一家で欧米に游学、昭和 7(1932)年帰国して小説家に転向。昭和 11(1936)年川端康成の推薦で『文学界』に『鶴は病みき』を発表した。小説家としてデビューしたのは晩年であったが、生前の精力的な執筆活動から、没後も多くの遺作が発表されている。

出典:わが最終歌集 改造社 1929.12
「国立国会図書館オンライン近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

花音♪メンバープロフィール

語りと音楽・花音は、2005年10月に結成したナレーターとピアニストのトリオ。神奈川県や都内の文学館、図書館、美術館などで朗読コンサートを展開。ピアノ演奏とともに朗読するスタイルで、多くの朗読ファンを魅了している。



ぬかだ いすみ
額田 泉
〈朗読〉
司会、ナレーション、朗読、話し方講師として活躍中。現在、FMおだわらパーソナリティー。

さねちか ふさえ
実近 房枝
〈電子ピアノ〉
ピアニスト。合唱や管・打楽器の伴奏、ピアノ講師として活躍中。秦野市楽友協会会員。

おおはな かおる
大花 薫
〈朗読〉
TV番組、CMやVP、DVDなど、様々な分野でのナレーションを中心に活躍中。

♪秦野市立図書館では花音朗読コンサートを平成20年から開催し今回で15回目となります